

フレッシュ名曲コンサート
第39回板橋

第九

管弦楽
東京フィルハーモニー交響楽団

合唱
板橋第九合唱団

指揮
大井 剛史

©K.Miura

ベートーヴェン
「フィデリオ」序曲
交響曲第9番 二短調「合唱付」

©上野能孝(スタッフ・テス)

2023年

12月9日(土)

14:30開演(13:45開場)

板橋区立文化会館
大ホール

〈料金〉全席指定 3,000円

※未就学児の入場はご遠慮いたしております。

〈チケット発売〉9月8日(金)

〈チケット取扱〉

・板橋区立文化会館 1階チケットセンター (9:00~20:00)

TEL.03-3579-5666 ※施設点検日は17:00まで

・インターネット予約

(24時間受付・発売日初日9:00~公演日前日まで)

板橋区立文化会館のHPより

<https://www.itabashi-ci.org/culturehall/>

インターネット予約



・チケットぴあ t.pia.jp [Pコード250-373]

・ローソンチケット l-tike.com [Lコード 31955]

・区内チケット取扱店

※店頭では先着順に販売いたします。電話予約はできません。

※定休日・営業時間は各店舗にお問い合わせください。

板橋区役所南館1階	CAFE DINING [NAKAJUKU]	TEL.03-6915-5066
ハッピーロード大山商店街	全国ふるさとふれあいショップ「とれたて村」	TEL.03-6905-8441
中板橋商店街	中板堂	TEL.03-3579-0010
宮の下商店街入口	大野屋文具店	TEL.03-3956-1417
板橋駅前本通り商店街	時計・宝飾・メガネ「光輝」	TEL.03-3964-6511
志村坂上駅A3出口横	書林朝日書店	TEL.03-3966-5840
高島平団地内・荻番街	高島平南天堂(荻番街店)	TEL.03-3936-4455
成増駅北口前	長太郎不動産(成増駅北口前店)	TEL.03-3938-0002

(主 催) 公益財団法人 板橋区文化・国際交流財団 / 公益財団法人 東京都歴史文化財団 東京文化会館
(企画協力) 東京オーケストラ事業協同組合
(問い合わせ先) (公財) 板橋区文化・国際交流財団 03-3579-3130 (平日9:00~17:00)

ソプラノ
種谷 典子

©FUKAYA Yoshinobumura YZ

メゾ・ソプラノ
花房 英里子

テノール
小堀 勇介

©T.Tairadate

バリトン
竹内 利樹

キャンペーンコンサート

絶賛発売中

花房英里子(メゾ・ソプラノ)リサイタル

出演: 花房 英里子 ピアノ/高田 恵子

9月21日(木) 14:00開演
(13:30開場)

[全席自由] 500円

〈チケット取扱〉板橋区立文化会館

窓口・電話 チケットセンター

03-3579-5666 (9:00~20:00)

※施設点検日は17:00まで

WEB <https://www.itabashi-ci.org/culturehall/>



大井 剛史(指揮)

Takeshi Ooi, Conductor

1974年生まれ。17歳より指揮法を松尾葉子氏に師事。若杉弘、岩城宏之、レヴァイン、マズア、ジェルメティ、カラブチエフスキーの各氏から指導を受ける。東京藝術大学指揮科を卒業後、1999年同大学院指揮専攻修了。1996年安宅賞受賞。2000～01年、仙台フィルハーモニー管弦楽団の副指揮者として研鑽を積み、2007～09年、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団にて研修。2008年アントニオ・パドローティ国際指揮者コンクールで第2位入賞。2009～16年までニューフィルハーモニーオーケストラ千葉(現・千葉交響楽団)常任指揮者、2009～13年山形交響楽団指揮者、2013～17年同正指揮者を歴任。現在、東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者。このほかほとんどの国内主要オーケストラを指揮し、多彩なレパートリーと誠実な指揮でいずれも高い評価を得ている。オペラの分野では、在学中より新国立劇場、東京二期会などのオペラ公演で副指揮者を務め、2002年「ベレアスとメリザンド」(ドビュッシー)を指揮しデビュー、以降多くのオペラ作品を指揮するほか、ミュージカル「ウエストサイドストーリー」(バーンスタイン)も指揮。新進作曲家の現代作品や、吹奏楽、バレエなど幅広い分野で意欲的に活動している。東京藝術大学音楽学部器楽科非常勤講師(吹奏楽)。高美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。



種谷 典子(ソプラノ)

Noriko Tanetani, Soprano

国立音楽大学及び同大学院声楽専攻を首席で卒業。卒業時に武岡賞を、また大学院修了時に声楽専攻最優秀賞を受賞。新国立劇場オペラ研修所第16期修了。平成28年度文化庁新進芸術家海外研修員としてイタリア・ミラノ、スイス・ルガーノにてLuciana Serra氏のもと研鑽を積み、2021年11月宮本亜門演出二期会「魔笛」パバゲーナに抜擢され、存在感のある演唱で好評を博す。その後、二期会「フィガロの結婚」サザナ、日生劇場「セビリアの理髪師」ベルタに出演し注目を集める。2023年7月二期会「椿姫」では、タイトルロールを演じ、観客を魅了した。他、「ドン・バスカワーレ」ゾリーナ、「なりゆき泥棒」ベレニーチェ等、多くの役を演じる。コンサートでも、「第九」をはじめ、ヴィヴァルディ「グローリア」、チルコット「レクイエム」、フォーレ「レクイエム」等のソリストとして活躍。2024年2月には、東京文化会館での、東京音楽コンクール入賞者リサイタル(種谷典子ソプラノリサイタル)を予定。意欲的なプログラムで注目を集めている。第24回リッカルド・ザンドナイ国際コンクール(イタリア)において、Tokyo Metropolitan Opera Foundation賞を受賞。第16回東京音楽コンクール声楽部門第2位。二期会会員



小堀 勇介(テノール)

Yusuke Kobori, Tenor

国立音楽大学声楽専攻ならびに同大学院声楽専修オペラコースを首席で修了。新国立劇場オペラ研修所第15期修了。2016年、文化庁新進芸術家海外研修制度研修員としてイタリアに留学。ロッシーニの世界的権威であるアルベルト・ゼッガ氏のもとで研鑽を積み、ペーザロのアカデミア・ロッシーニアーナ2016、ルーネンバーグのロッシーニ・オペラ・アカデミー2016を修了。チロル祝祭歌劇場にて「アルジェのイタリア女」のリンドーロ役でヨーロッパデビュー。帰国後はびわ湖ホール「連隊の娘」トニオ役を皮切りに、藤原歌劇団公演「チェネレントラ」ドン・ラミーロ役、日生劇場公演「愛の妙薬」ネモリーノ役、「セビリアの理髪師」アルマヴィーヴァ伯爵役などベルカントオペラ作品に次々と出演を重ねている。2018年第16回東京音楽コンクール声楽部門第2位、2019年第88回日本音楽コンクール声楽部門第1位など入賞多数。2022年10月に開催された東京フィルハーモニー交響楽団定期演奏会では、チョン・ミンファン指揮「ファルスタッフ」フェントン役で出演、絶賛された。2023年は日越外交関係樹立50周年記念・新作オペラ・プロジェクト「アニー・姫」荒木宗太郎役に抜擢され、9月にハノイで世界初演されるほか、数々のオペラ作品や演奏会への出演を予定している。日本ロッシーニ協会会員。



東京フィルハーモニー交響楽団 TOKYO PHILHARMONIC Orchestra

1911年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督にチョン・ミンファン、首席指揮者アンドレア・パッティストニ、特別客演指揮者にミハイル・プレトニョフを擁する。Bunkamuraオーチャードホール、東京オペラシティコンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会や「渋谷/平日/休日の午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、「名曲アルバム」『NHKニューイヤーオペラコンサート』『題名のない音楽会』『東急ジルベスターコンサート』『NHK紅白歌合戦』『いないいないばあ』などの放送演奏の他、各地学校等での訪問コンサート等により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として、高水準の演奏活動とさまざまな教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。2020～21年のコロナ禍における取り組みはMBS「情熱大陸」、NHK BS1「BS1スペシャル 必ずよみがえる～魂のオーケストラ 1年半の闘い～」などのドキュメンタリー番組で取り上げられた。1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。◆公式ウェブサイト <https://www.tpo.or.jp/>



花房 英里子(メゾソプラノ)

Eriko Hanafusa, Mezzo Soprano

京都市立芸術大学声楽専攻を首席で卒業。同時に京都市長賞受賞。東京藝術大学大学院音楽研究科(修士課程)独唱専攻修了。二期会オペラ研修所第60期マスタークラス修了。修了時に優秀賞を受賞。第21回松方音楽ホール音楽賞声楽(オペラ)部門奨励賞、第40回飯塚新人音楽コンクール声楽部門第1位、第19回東京音楽コンクール声楽部門第2位、聴衆賞を同時受賞。これまでオペラでは、2018年二期会ニューウェーブ・オペラ『アルチーナ』ルージュエロで二期会オペラデビューの後、新国立劇場「魔笛」童子Ⅲ、二期会「蝶々夫人」(アンドレア・パッティストニ指揮/宮本亜門演出)スズキ、同「ファルスタッフ」メグを、表情豊かに演じ、好評を博す。その他に、「フィガロの結婚」ケルビーノ、「ラインの黄金」ヴェルグンデ、「ドン・カルロ」エボリなどをレパートリーとする。コンサートでも、ベートーヴェン「第九」をはじめ、パッハ「マタイ受難曲」、モーツァルト「戴冠ミサ」、マーラー「復活」、ヴィヴァルディ「グローリア」、ヘンデル「メサイア」など数多くのアルトソロを務め、高い評価を得ている。二期会会員



竹内 利樹(バリトン)

Toshiaki Takeuchi, Baritone

東京藝術大学卒業、同大学院修了。第27回静岡県学生音楽コンクール第1位。第8回高校生のための歌曲コンクール優秀賞を受賞し渡伊。第8回大阪国際音楽コンクール第1位。第61回全日本学生音楽コンクール東京大会第2位及び全国大会第3位。2017年イタリア・ミラノへ留学。留学中はブレラ地区にて、ブレラ美術館主催公演「エンマとブルー・バク」(世界初演)のブルー・バク役を務める。国内では、第59回藝大オペラ定期公演「秘密の結婚」よりロビンソン伯爵でオペラデビュー以降、数々のオペラに出演。その他、日本オペラ協会公演「日本オペラ-日本歌曲連続演奏会」第71回、72回に連続出演し、いずれも好評を得ている。また、第64回チャリティーコンサート「藝大メサイア」(朝日新聞社主催)をはじめ、「第九」、パッハ「カンタータ」、フォーレ「レクイエム」などのバス・ソロとしても活躍の場を広げている新進バリトン。現在、浜松学芸高校にて後進の指導にあたる。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。静岡県出身。

板橋第九合唱団 ITABASHI DAIKU GASSYODAN

一般公募にて結成した合唱団。今年は約150名で構成され、9月から練習を開始。発声・音取り・ドイツ語指導等の長期指導を経て、本公演で心をついに歌い上げる。

板橋区立文化会館

TEL: 03-3579-5666(チケットセンター) (9:00~20:00)

〒173-0014 板橋区大山東町51-1

東武東上線「大山」駅北口より徒歩約3分 都営三田線「板橋区役所前」駅A3出口より徒歩約7分

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

問い合わせ先: (公財)板橋区文化・国際交流財団 03-3579-3130(平日9:00~17:00)

